

まほろば秦野通信

令和2年3月4日

タイトル	八重桜のジョイント栽培は全国初の取り組み 市内柳川で食用八重桜の^{つぎき}接木作業を実施
When (いつ)	4月4日(土曜日) 午前9時40分～正午 ※荒天の場合は4月11日(土曜日)に順延
Where (どこで)	和田ローズガーデン(秦野市柳川583)に集合後、徒歩5分の会場に移動
Who (だれが)	任意団体フィールド・フォー・シチズン 代表 小池 勉氏
What (なにを)	1月に植樹した食用八重桜の接木作業を実施します。 見学希望者は、メールの本文に、名前・住所・電話番号を記載し、次のアドレスに送信してください。 任意団体フィールド・フォー・シチズン 代表 小池 勉氏 tkoike210655@gmail.com (080-9036-4129)
How (どのように)	先着20名、手袋持参、無料 ※順延が決定した場合、事前に見学希望を申し込んだ方には当日の朝に主催者より連絡があります。
Why (なぜ)	高齢化や後継者不足という背景に加え、落下時の危険性から摘み取り方法の習得が困難であるため、八重桜の摘み手が減少する中、将来的には、全国初の樹高を低く抑えるジョイント栽培(接木)を実践することで、幅広い層に八重桜の植樹から収穫を楽しんでもらい、八重桜の伝統を守ることを目的とします。
過去の実績	主催団体は、平成28年から、市民を集めて米及びサツマイモを栽培することで遊休農地の解消活動に取り組んでいます。 1月26日には、全国初となるジョイント栽培を目的とした八重桜の植樹祭を開催しました。
今後の取り組み	八重桜の接木後は養生が続きます。3年後に開花、4年後に摘み取りを予定しています。
問い合わせ	農業振興課農業支援・鳥獣対策担当 担当：鈴木 電話0463(81)7800